

平成22年度 刊行論文・著書・学会発表

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
内 科	慢性甲状腺炎治療中に発症し、抗GAD抗体異常高値を示した高齢発症1型糖尿病の1例	山 崎 夕 小 橋 親 晃 鈴 木 ひかり 宇 野 立 人 岩 田 実 薄 井 勲 山 崎 勝 也 浦 風 雅 春 戸 邊 一 之	第 81 回日本糖尿病学会 中部地方会	2010. 4. 17 石川 金沢大学医学類教 育棟
	重症下肢虚血に対してカテーテルによる血行再建術およびフットウェア作成により、救肢できた1例	茶 谷 健 一 井 内 和 幸 野々村 誠 能 登 貴 久 福 田 信 之	第120回日本循環器学会 北陸地方会	2010. 7. 4 金沢
	睡眠時無呼吸を伴う心筋梗塞例に対する運動療法	浜 松 めぐみ 能 登 貴 久 田 畑 麻由美 織 田 洋 輔 松 下 優 季 高 見 早 苗 宮 坂 麗 子 浦 野 啓 子 按 田 弘 美 井 内 和 幸	第 16 回日本心臓リハビ リテーション学会	2010. 7. 17-18 鹿児島 かごしま県民交流 センター
	脊髄梗塞後に急性心筋梗塞を合併した一症例	織 田 洋 輔 能 登 貴 久 五百崎 仁 美 林 理 絵 山 本 薫 松 下 一 紀 按 田 弘 美 井 内 和 幸	第 16 回日本心臓リハビ リテーション学会	2010. 7. 17-18 鹿児島 かごしま県民交流 センター

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
内 科	高齢心筋梗塞患者の抑うつに対して運動療法が有効であった 1 例	高 見 早 苗 按 田 弘 美 織 田 洋 輔 田 畑 麻由美 宮 坂 麗 子 能 登 貴 久 浦 野 啓 子 井 内 和 幸	第 16 回日本心臓リハビリテーション学会	2010. 7-17-18 鹿児島 かごしま県民交流センター
	心臓リハビリテーション開始時の患者の意識調査	五百崎 仁 美 織 田 洋 輔 能 登 貴 久 林 理 絵 按 田 弘 美 井 内 和 幸	第 16 回日本心臓リハビリテーション学会	2010. 7-17-18 鹿児島 かごしま県民交流センター
	「RES MED 社製 新・旧鼻枕型 Nasal Pillow マスクの検討-片麻痺症状のある SAS 患者に-	平 等 奈緒美 谷 内 隆 浩 井 内 和 幸	北陸呼吸ケア研究会第 19 回富山会	2010. 8. 28 富山
	高分子量アディポネクチンの性差と心房細動例の脳梗塞発症リスクとの関連	福 田 信 之 大 原 一 将 中 川 圭 子 平 井 忠 和 能 澤 孝 井 上 博	第 58 回日本心臓病学会 集会	2010. 9. 17-19 東京 東京国際フォーラム
	A Case of Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy, in which the Left Ventricular Pressure Gradient was Disappeared After Cessation of Longterm DDD Pacing	Iuchi, K	第 14 回日本心不全学会 学術集会	2010. 10. 7-9 東京 京王プラザホテル
	片麻痺症状のある睡眠時無呼吸症候群(SAS)患者への CPAP 導入時のマスク選択についての検討	井 内 和 幸	第 24 回日本臨床内科医学会	2010. 10. 10-11 石川 石川県立音楽堂

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
内科	陳旧性心筋梗塞に新たな虚血により Brugada 様心電図を呈し、繰り返し失神発作を起こしたと思われる 1 例	井内和幸 野々村 誠 茶谷健一 能登貴久 福田信之	心臓突然死フォーラム	2010.10.15 富山
	重症下肢虚血に対して血行再建術およびフットウェア作成により、救肢できた 2 例	茶谷健一 井内和幸 能登貴久 野々村 誠 福田信之	日本心血管インターベンション治療学会第 24 回東海北陸地方会	2010.10.22-23 静岡 アクトシティ浜松
	末梢保護デバイス「パラシュート」の使用経験	茶谷健一 福田信之 能登貴久 野々村 誠 井内和幸	第 28 回富山 PTCA 研究会	2010.10.30 富山 ボルファートとやま
	若年者急性心筋梗塞患者の患者、病変背景および長期経過(血管内超音波を用いて) 第 2 報	茶谷健一 井内和幸 野々村 誠 能登貴久 福田信之	日本循環器学会 第 136 回東海・第 121 回北陸合同地方会	2010.11.6-7 石川 金沢エクセルホテル東急
	トータルケアとしての動脈硬化治療を目指して-脂肪肝・睡眠時無呼吸症候群と動脈硬化疾患のかかわり	井内和幸	新川地区病診連携動脈硬化勉強会	2010.11.25 魚津
	EVT 施行およびフットケアチームによる各科連携により、救肢し得た 1 症例	茶谷健一	第 9 回日本フットケア学会	2011.2.12-13 福岡 アクロス福岡
	小児科	水痘の潜伏期中に発症した急性糸球体腎炎の 1 例	松倉裕喜	第 45 回日本小児腎臓病学会
小脳半球に異所性石灰化を認めた慢性腎不全の女児例		松倉裕喜	第 18 回中部日本小児腎臓病研究会	2010.9.11 名古屋 名古屋大学付属病院東病棟

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
外科	稀な膵腫瘍の1切除例	坂東正 松能久雄 塚田一博	第22回肝胆膵外科学会 総会 p276	2010.5.28 仙台
	免疫組織化学的 Intrinsic Subtype 別にみた乳癌生物学的 マーカーの関連性の検討	清水哲朗 山崎一麿 坂東正 田近貞克 島多勝夫	第18回日本乳癌学会学 術総会	2010.6.24 札幌
	維持療法 (TS-1/ハーセプチン) にて長期 PR を維持している肺転 移再発乳癌の一例	島多勝夫 清水哲朗 田澤賢一 長田拓哉 塚田一博	第18回日本乳癌学会学 術総会	2010.6.24 札幌
	嚢胞状肝転移の2切除例	坂東正 清水哲朗 山崎一麿 塚田一博 魚谷英之	第46回日本肝癌研究会	2010.7.8-9 大阪 大阪国際会議場
	術前保菌スクリーニングの意義	清水哲朗 山崎一麿 坂東正 田近貞克 塚田一博	第65回日本消化器外科 学会総会	2010.7.14-16 山口 下関グランドホテル
	消化管閉塞に対する緩和手術の 意義	山崎一麿	第65回日本消化器外科 学会総会	2010.7.14-16 山口 海峡メッセ下関 下関市民会館
	腹腔鏡下胆嚢摘出術における CT 画像を利用した診断によるメタ ボリック症候群の影響の検討	坂東正 山崎一麿 清水哲朗 田近貞克 塚田一博	第65回日本消化器外科 学会総会	2010.7.14-16 山口 海峡メッセ下関 下関市民会館
	DPC での食道静脈瘤治療の現状 と問題点	坂東正 塚田一博	第17回日本門脈圧亢進 症学会総会	2010.9.9 富山

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
外科	十二指腸ファーター乳頭近傍に重複してみられたカルチノイド腫瘍の1切除例	坂東正 山崎一麿 清水哲朗 田近貞克 松能久雄 北條莊三 塚田一博	第46回日本胆道学会学術集会	2010.9.24-25 広島 リーガロイヤルホテル広島
	膵炎に随伴する横行結腸狭窄が誘因と考えられた盲腸穿孔による急性汎発性腹膜炎の1例	坂東正 山崎一麿 清水哲朗 田近貞克 塚田一博	第52回日本消化器病学会大会	2010.10.13-16 神奈川 パシフィコ横浜
	S-1およびGemcitabine併用補助化学療法が著効した胆嚢癌非根治切除の1例	坂東正 山崎一麿 清水哲朗 関根慎一 嶋田裕 塚田一博	第48回日本癌治療学会総会	2010.10.28-30 京都 国立京都国際会館
	生物学的特性からみた検診発見乳癌の検討	清水哲朗 山崎一麿 坂東正 田近貞克 島多勝夫	第20回日本乳癌検診学会総会	2010.11.19-20 福岡 福岡国際会議場
	UFT/LV療法の維持療法が奏功したと考えられる虫垂原発腹膜偽粘液腫の術後再発の1例	山崎一麿	第65回日本大腸肛門病学会	2010.11-26-27 静岡 アクトシティ浜松
	整形外科	大腿骨頸部骨折に対する Direct anterior approach による人工骨頭置換術-初期15例と後期15例との比較-	藤井秀人 吉田晃 青木信之 小川恭一	第114回中部日本整形外科学会
ACL再建後に化膿性膝関節炎を発症し、再々建術を行った一例		藤井秀人 吉田晃 青木信之 小川恭一	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	2010.7.2-4 沖縄 沖縄コンベンションセンター

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
整形外科	女子児童に生じた野球肘の1例- 女兒特有のフォームについての 考察-	藤 井 秀 人 吉 田 晃 青 木 信 之 大 橋 義 徳	第 36 回日本整形外科ス ポーツ医学会学術集会	2010. 9. 10-12 神奈川 新横浜プリンスホ テル
	Direct anterior approach によ る人工股関節置換術の経験-導入 後1年、1年半を境に比較してラ ーニングカーブを検証する-	藤 井 秀 人 吉 田 晃 青 木 信 之 大 橋 義 徳	第 37 回日本股関節学会 学術集会	2010. 10. 1-2 福岡 福岡国際会議場
	大腿骨頸部骨折に対する Direct anterior approach による人工骨 頭置換術の経験-導入後2年半を 経過して-	藤 井 秀 人 吉 田 晃 青 木 信 之 大 橋 義 徳	第115回中部日本整形外 科災害外科学会	2010. 10. 8-9 大阪 ザ・リッツ・カー ルトン大阪
脳神経外科	脳出血発症の硬膜動静脈瘻 (Cognard type IV)の1例-血行動 態と varix の病理学的検討-	高 橋 千 晶 久 保 道 也 岡 本 宗 司 松 村 内 久 上 山 浩 永 柴 田 孝 堀 江 幸 男 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	第 78 回日本脳神経外科 学会中部支部学術集会	2010. 4. 3 富山
	頸動脈ステント留置術後の高次脳 機能-balloon protection と filter protection の比較-	秋 岡 直 樹 桑 山 直 也 林 央 周 高 岩 亜輝子 山 本 博 道 久 保 道 也 遠 藤 俊 郎	STROKE2010 第 39 回日本 脳卒中の外科学会	2010. 4. 15-17 盛岡
	頸動脈ステント術前における大動 脈 CTA の重要性	山 本 博 道 久 保 道 也 秋 岡 直 樹 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	STROKE2010 第 39 回日本 脳卒中の外科学会	2010. 4. 15-17 盛岡

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	富山県における脳卒中センター設立と脳神経外科医療再生5カ年計画	遠藤 俊 郎 桑山 直 也 栗本 昌 紀 林 央 周 久保 道 也 堀江 幸 男 原田 淳 駒井 杜詩夫	STROKE2010 第35回日本脳卒中学会総会	2010.4.15-17 盛岡
	Modified Rankin Scale(mRS)3の症例に対する頭蓋外頭蓋内バイパス術の有効性	上山 浩 永 松村 内 久 柴田 孝 久保 道 也 岡本 宗 司 高橋 千 晶 堀江 幸 男 遠藤 俊 郎	STROKE2010 第39回日本脳卒中の外科学会	2010.4.15-17 盛岡
	Primitive tentorial sinusの発生的視点をふまえた術前脳静脈評価-3D-DSA表示を用いた静脈撮影の有用性-	久保 道 也 桑山 直 也 林 央 周 秋岡 直 樹 上山 浩 永 岡本 宗 司 松村 内 久 堀江 幸 男 遠藤 俊 郎	STROKE2010 第39回日本脳卒中の外科学会	2010.4.15-17 盛岡
	脳卒中急性期病院から在宅復帰するための予測因子～発症後早期の運動FIMでの検討～	松下一 紀 柴田 孝 高岩 亜輝子 盛田 麻 恵 真木 華 恵 山本 薫 瀬島 知 治 松村 内 久 久保 道 也 堀江 幸 男	STROKE2010 第35回日本脳卒中学会総会	2010.4.15-17 盛岡

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
脳神経外科	高倍率(30-50倍)顕微鏡下バイパス手術の有用性	松村 内久 柴田 孝 上山 浩永 高橋 千晶 岡本 宗司 久保 道也 堀江 幸男 浜田 秀雄 林 央周 遠藤 俊郎	STROKE2010 第39回日本 脳卒中の外科学会	2010.4.15-17 盛岡
	ニューロン異常性トポグラフィーを用いた頸動脈狭窄症とアルツハイマー病による軽度認知障害との識別	柴田 孝 松村 内久 久保 道也 堀江 幸男 高岩 亜輝子 林 央周 桑山 直也 遠藤 俊郎 武者 利光 松崎 晴康	STROKE2010 第35回日本 脳卒中学会総会	2010.4.15-17 盛岡
	頸動脈ステント(CAS)留置後におけるカルシウム拮抗剤の反応性の変化-L型とN型チャンネル阻害型カルシウムの拮抗薬の違い	久保 道也 堀江 幸男 松村 内久 岡本 宗司 上山 浩永 柴田 孝 高橋 千晶 林 央周 桑山 直也 遠藤 俊郎	第9回日本頸部脳血管治療学会	2010.4.23-24 横浜
	CAS 周術期の血小板活性は、アスピリン・クロビドグレルの併用で抑制される。	山本 博道 桑山 直也 久保 道也 秋岡 直樹 早川 由美子 遠藤 俊郎	第16回日本血管内治療学会総会	2010.7.23-24 名古屋

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	Wada Test における高次脳機能評価課題の検討	高 岩 亜輝子 中 道 尚 美 桑 山 直 也 久 保 道 也 山 本 博 道 秋 岡 直 樹 遠 藤 俊 郎	第 16 回日本血管内治療 学会総会	2010. 7. 23-24 名古屋
	頸動脈ステント留置術後の高次脳機能-balloon protection と filter protection の比較-	秋 岡 直 樹 桑 山 直 也 林 央 周 高 岩 亜輝子 山 本 博 道 久 保 道 也 遠 藤 俊 郎	第 16 回日本血管内治療 学会総会	2010. 7. 23-24 名古屋
	頸動脈ステント術前における大動脈 CTA の重要性	久 保 道 也 山 本 博 道 秋 岡 直 樹 岡 本 宗 司 堀 江 幸 男 林 央 周 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	第 16 回日本血管内治療 学会総会	2010. 7. 23-24 名古屋
	Trans-superficial temporal artery (STA) approach for embolization of the internal carotid artery aneurysm-Technical report.	<u>Kubo. M</u> Kuwayama. N <u>Horie. Y</u> Hayashi. N Endo. S	The 10th Korean and Japanese Friendship Conference on Surgery for Cerebral Stroke	2010. 8. 9 Nagasaki
	再開通できなかった右鎖骨下動脈閉塞症の 1 例	久 保 道 也 高 橋 千 晶 岡 本 宗 司 松 村 内 久 上 山 浩 永 柴 田 孝 堀 江 幸 男 桑 山 直 也	第 34 回中部地区脳神経血管内手術懇話会	2010. 8. 21 高山

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	Matrix2 は.. どのような条件下でその効果を最も発揮するのか.. 術者からどんなシチュエーションでその効果を期待されているのか	<u>久保道也</u>	Matrix 2 Follow-up Seminar 2010	2010. 9. 4 名古屋
	当院における Matrix2 コイルを用いた脳動脈瘤治療(Matrix2 360° standard を framing に用いた最近の 2 症例)	秋岡直樹 桑山直也 <u>久保道也</u> 遠藤俊郎	Matrix 2 Follow-up Seminar 2010	2010. 9. 4 名古屋
	Application of Neuronal Activity Topography to Vascular Cognitive Impairment with Carotid Artery Stenosis	Shibata. T <u>Matsumura. N</u> <u>Horie. Y</u> Hayashi. N Kuwayama. N Endo. S Musha. T Matsuzaki. H	29 th international congress of clinical neurophysiology	2010. 10. 28-11. 1 Kobe
	病院前救護での「脳卒中ホットライン・チェック表」の作成と運用	<u>堀江幸男</u> <u>久保道也</u> <u>松村内久</u> <u>岡本宗司</u> <u>上山浩永</u> <u>柴田孝</u> 高橋千晶 林 央周 桑山直也 遠藤俊郎	日本脳神経外科学会 第 69 回学術総会	2010. 10. 27-29 福岡
	出血源不明のくも膜下出血症例における 3 次元 - DSA を用いた脳静脈評価	<u>久保道也</u> 桑山直也 <u>松村内久</u> <u>岡本宗司</u> <u>上山浩永</u> <u>柴田孝</u> 高橋千晶 <u>堀江幸男</u> 林 央周 遠藤俊郎	日本脳神経外科学会 第 69 回学術総会	2010. 10. 27-29 福岡

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	脳血管吻合における高倍率(30-50倍)顕微鏡下手術 super-microvascular anastomosis の効用」	松 村 内 久 上 山 浩 永 柴 田 孝 高 橋 千 晶 岡 本 宗 司 久 保 道 也 堀 江 幸 男 林 央 周 浜 田 秀 雄 遠 藤 俊 郎	日本脳神経外科学会 第 69 回学術総会	2010. 10. 27-29 福岡
	頸動脈狭窄症の血行再建術におけるニューロン活動トポグラフィー	柴 田 孝 松 村 内 久 久 保 道 也 堀 江 幸 男 高 岩 亜輝子 林 央 周 栗 本 昌 紀 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎 武 者 利 光 松 崎 晴 康	日本脳神経外科学会 第 69 回学術総会	2010. 10. 27-29 福岡
	こだわりの Super microsurgery : 脳神経外科医の立場から	松 村 内 久 柴 田 孝 上 山 浩 永 高 橋 千 晶 岡 本 宗 司 久 保 道 也 堀 江 幸 男	第 37 回マイクロサージェ ヤリー学会集会	2010. 11. 18-19 名古屋
	無症候性頸動脈狭窄症の高次脳機能は保たれているか？	高 岩 亜輝子 桑 山 直 也 秋 岡 直 樹 林 央 周 竹 内 幹 伸 久 保 道 也 遠 藤 俊 郎	第 26 回日本脳神経血管 内治療学会学術総会	2010. 11. 18-20 北九州

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	Trans-superficial temporal artery (STA) approach をより安全かつ確実にを行うための工夫	久保道也 桑山直也 岡本宗司 松村内久 高橋千晶 堀江幸男 秋岡直樹 林央周 遠藤俊郎	第26回日本脳神経血管内治療学会学術総会	2010.11.18-20 北九州
	MPVR-STG/MIP 表示を用いた硬膜動静脈瘻における逆行性皮質静脈流出路と正常脳静脈還流路の評価	久保道也 桑山直也 岡本宗司 高橋千晶 堀江幸男 秋岡直樹 林央周 遠藤俊郎	第26回日本脳神経血管内治療学会学術総会	2010.11.18-20 北九州
	前交通動脈瘤における 3D-RA 撮影に対する見解の統一の試み	渡邊篤史 松井幹夫 五十嵐進 竹田尚弘 石崎宗一郎 平野貴大 千代勇氣 二谷立介 久保道也 桑山直也 遠藤俊郎	第26回日本脳神経血管内治療学会学術集総会	2010.11.18-20 北九州
	当院における CAS 周術期の血小板活性の変化	山本博道 桑山直也 秋岡直樹 久保道也 早川由美子 遠藤俊郎	第26回日本脳神経血管内治療学会学術総会	2010.11.18-20 北九州

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
脳神経外科	破裂脳動脈瘤に対する急性期脳動脈瘤塞栓術における術中血栓性合併症の分析	岡本宗司 久保道也 高橋千晶 堀江幸男 秋岡直樹 林央周 桑山直也 遠藤俊郎	第26回日本脳神経血管内治療学会学術総会	2010.11.18-20 北九州
	頸部頸動脈狭窄症に対する血行再建術: CAS、CEA の的確な選択による治療成績の維持	秋岡直樹 桑山直也 林央周 久保道也 山本博道 岡本宗司 高岩亜輝子 遠藤俊郎	第26回日本脳神経血管内治療学会学術総会	2010.11.18-20 北九州
	済生会富山病院における脳卒中救急と病診連携における取り組み	久保道也 堀江幸男 松村内久 岡本宗司 上山浩永 富田隆浩 柴田孝 桑山直也 遠藤俊郎	第26回日本脳神経血管内治療学会学術総会	2010.11.18-20 北九州
	教育面を重視した血管内治療記録(手術記録)の試み	久保道也 桑山直也 岡本宗司 松村内久 上山浩永 富田隆浩 柴田孝 堀江幸男 秋岡直樹 遠藤俊郎	第19回北陸 IVNR 研究会	2011.1.15 金沢

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	Carotid Wallstent を用いた CAS の初期成績	山 本 博 道 秋 岡 直 樹 久 保 道 也 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	第 19 回北陸 IVNR 研究会	2011. 1. 15 金沢
	血栓溶解療法後にくも膜下出血を 来たした未破裂脳動脈瘤内塞栓 術術後の 1 例	新 井 政 幸 桑 山 直 也 久 保 道 也 富 田 隆 浩 林 智 秀 小 出 謙 一 郎 原 田 淳 遠 藤 俊 郎	第 19 回北陸 IVNR 研究会	2011. 1. 15 金沢
	対側アプローチにて塞栓術を行っ た破裂前大脳動脈瘤 (A2 近位部) の 1 例	富 田 隆 浩 久 保 道 也 岡 本 宗 司 松 村 内 久 上 山 浩 永 柴 田 孝 堀 江 幸 男 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	第 19 回北陸 IVNR 研究会	2011. 1. 15 金沢
	ステント併用脳動脈瘤塞栓術にお けるコーンビーム CT 撮影の経験 報告	渡 邊 篤 史 石 崎 宗 一 郎 千 代 勇 気 松 井 幹 夫 久 保 道 也 岡 本 宗 司 富 田 隆 浩 堀 江 幸 男 桑 山 直 也 遠 藤 俊 郎	第 19 回北陸 IVR 研究会	2011. 1. 15
	静脈はいとをかし	久 保 道 也	富山市医師会報 474 pp9-10	2010

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
脳神経外科	V. 各種病変に対する手技・治療戦略 5. 海綿静脈洞部内頸動脈瘤	<u>久保道也</u>	脳動脈瘤血管内治療の すべて-基本から最新治 療まで- メジカルビュー社 pp184-193	2010
	CEA/CAS 術後検査として SPECT は 必要か？	<u>久保道也</u> <u>堀江幸男</u> <u>二谷立介</u> 高岩 亜輝子 秋岡 直樹 林 央周 桑山直也 遠藤俊郎	第25回 Brain Functi- -onal Image Conference -脳機能画像研究会-記 録集 日本メジフィジック ス株式会社 pp 19-26	2010
	Intracranial Dural Arterio- -venous Fistula with Retrograde Cortical Venous Drainage:Use of Susceptibility -Weighted Imaging in Combination with Dynamic Susceptibility Contrast Imaging.	Noguchi. K Kuwayama. N <u>Kubo. M</u> Kamisaki. Y Kameda. K Tomizawa. G Kawabe. H Seto. H	AJNR Am J Neuroradiol	2010
	Microvascular anastomosis at 30-50x magnifications (super-microvascular anastomosis) in neurosurgery	<u>Matsumura. N</u> Hayashi. N <u>Kamiyama. H</u> <u>Kubo. M</u> <u>Shibata. T</u> <u>Okamoto. S</u> <u>Horie. Y</u> Hamada. H Endo. S	Surg Neurol Int2011 Jan;2:6 (Original Article on Web)	2011
	脳ドックの話	<u>久保道也</u>	たすき 05	2011
	わが国における硬膜動静脈瘻の治 療の現状	桑山直也 <u>久保道也</u> 遠藤俊郎 坂井信幸	脳神経外科ジャーナル 20 : 12-19	2011

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
産婦人科	ジエノゲストが有効であった再発 卵巣チョコレート嚢胞の1例	結城 浩 良	第5回富山県子宮内膜症 セミナー	2011. 2. 5 富山
皮膚科	Zosteriform metastasis の一例	崎田 茂 晃	日本皮膚科学会北陸地 方会第 426 回例会	2010. 6. 27 金沢
	リンパ濾胞様構造が増加した angiolymploid hyperplasia with eosinophilia の一例	崎田 茂 晃	日本皮膚科学会北陸地 方会第 427 回例会	2010. 9. 5 富山
	Piezogenic pedal papules の2例	崎田 茂 晃	日本皮膚科学会北陸地 方会第 428 回例会	2010. 12. 12 富山
	口唇に発生した粘表皮癌	乗 杉 理 牧 野 輝 彦 竹 上 與志昌 山 腰 高 子 上 田 智恵子 崎田 茂 晃 坂 村 律 生 清 水 忠 道	皮膚科の臨床 52 巻 10 号 1463 頁~1466 頁	2010
泌尿器科	浸潤性膀胱癌の一例	木 村 仁 美 風 間 泰 蔵	第 113 回富山県泌尿器科 医会	2010. 4. 15 富山
	A Prospective, Randomized, Controlled, Multicenter Study of Naftopidil for Treatment of Male Lower Urinary Tract Symptoms Associated with Benign Prostatic Hyperplasia: 75 mg Once Daily in the Evening Compared to 25 mg Thrice Daily	釣 谷 晋 二 野 崎 哲 男 奥 村 昌 央 木 村 仁 美 風 間 泰 蔵	Urol Int 2010; 85: 80-87	2010. 6. 3
	尿道直腸瘻の一例	風 間 泰 蔵 木 村 仁 美	第 116 回富山県泌尿器科 医会	2011. 1. 22
耳鼻咽喉科	急性咽頭炎様症状を主訴とした成人 Still 病の1例	木 村 寛	第 20 回北陸耳鼻咽喉科 感染症研究会	2010. 4. 24 石川 ホテル金沢
	口唇腺生検のインフォームドコン セントに必要な生検の合併症の分 析	木 村 寛	第 111 回日本耳鼻咽喉科 学会総会・学術講演会	2010. 5. 20-22 仙台

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
耳鼻咽喉科	耳鼻科を受診後に膠原病と診断された症例の臨床的検討	木村 寛	第55回日耳鼻富山県地方部会総会	2010.11.28 富山
歯科	嚥下の世界	河合 宏一 高田 和加子	魚津ミラージュ会	2010.10 富山
	吾輩は舌である-地球学からみた摂食・咀嚼・嚥下-	河合 宏一	みどりの風	2010.10 富山
	電子カルテと薬剤部門システムの連動した持参薬管理と効率的な内服薬セットの実施	藤木 梢 篠田 健一	薬事新報第2638号 55-59頁	2010.7.10
	終末期がん患者における栄養管理の実態と緩和チームとしての関わり	五十嵐 諭二 立川 一匡 柳原 照代 場家 豊美 田近 貞克 濱田 竜治 篠田 健一	第4回日本緩和医療薬学学会年会	2010.9.25
	インスリン使用外来患者への薬剤師の関わり-システム構築とその指導効果-	下崎 紀美子 川井 美和 松野 由華 加藤 由香里 渡邊 有梨 篠田 健一	第20回日本医療薬学会年会	2010.11.14
放射線技術科	当院における患者とスタッフの被ばく線量低減に向けた取り組み	石崎 宗一郎 渡邊 篤史 千代 勇氣 松井 幹夫 二谷 立介 蔭山 昌成	第39回日本IVR学会総会	2010.5.22
	当院におけるIVR時の取り組み	石崎 宗一郎	第29回北陸アンギオ研究会	2010.6.13
	カテ室職員に対する職業被ばく低減に向けた取り組み	石崎 宗一郎 渡邊 篤史 千代 勇氣 松井 幹夫 二谷 立介 蔭山 昌成 久保 道也	第5回北陸IVR研究会	2010.9.4

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
放射線技術科	3D-SPACE 法を用いた腰椎 T2WI 撮影条件の検討	<u>藤 本 勝 明</u>	第 38 回日本磁気共鳴医学学会大会	2010. 10. 1
	ステレオガイド下マンモトーム生検における検査時間短縮と精度向上の工夫	<u>野 崎 春 奈</u>	第 63 回済生会学会	2010. 10. 24
	前交通動脈瘤における 3D-RA 撮影に対する見解の統一の試み	<u>渡 邊 篤 史</u> <u>石 崎 宗一郎</u> <u>千 代 勇 気</u> <u>松 井 幹 夫</u> <u>二 谷 立 介</u> <u>久 保 道 也</u>	第 26 回日本脳神経血管内治療学会	2010. 11. 20
	3D-SPACE 法を用いた腰椎 T2WI 撮影条件の検討	<u>藤 本 勝 明</u>	第 3 回中部放射線医療技術学術大会	2010. 11. 20
	ステント併用脳動脈瘤塞栓術におけるコーンビーム CT 撮影の経験報告	<u>渡 邊 篤 史</u> <u>石 崎 宗一郎</u> <u>千 代 勇 気</u> <u>松 井 幹 夫</u> <u>久 保 道 也</u> <u>岡 本 宗 司</u> <u>富 田 隆 浩</u> <u>堀 江 幸 男</u> <u>桑 山 直 也</u>	第 19 回北陸 IVNR 研究会	2011. 1. 15
臨床検査科	RESMED 社製新・旧鼻枕型 Nasal Pillow マスクの検討-片麻痺症状のある SAS 患者に-	<u>平 等 奈緒美</u> <u>谷 内 隆 浩</u> <u>井 内 和 幸</u>	北陸呼吸ケア研究会 第 19 回富山会	2010. 8. 28
	ニューロン活動トポグラフィーを用いた頸動脈狭窄症とアルツハイマー病による軽度認知障害との鑑別	<u>谷 内 隆 浩</u> <u>平 等 奈緒美</u> <u>開 美絵子</u> <u>酒 井 紀三子</u> <u>柴 田 孝</u> <u>松 村 内 久</u> <u>久 保 道 也</u> <u>堀 江 幸 男</u>	第 57 回日本臨床検査医学学会学術集会	2010. 9. 9

科 名	題 名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年 月 日
臨床検査科	心臓超音波検査にて右房内を激しく可動する数珠状の血栓を認め、肺塞栓症を合併した一例	千 代 理 絵 下 司 洋 臣 福 田 信 之 能 登 貴 久 茶 谷 健 一 野々村 誠 井 内 和 幸	日本超音波医学学会第30回中部地方会学術集会	2010.9.12
リハビリテーション科	脳卒中急性期病院から在宅復帰する為の予測因子～発症後早期の運動FIMでの検討～	松 下 一 紀 柴 田 孝 盛 田 麻 恵 真 木 華 恵 山 本 薫 瀬 島 知 治 松 村 内 久 久 保 道 也 堀 江 幸 男	第35回日本脳卒中学会総会	2010.4 岩手
	急性期脳卒中リハビリテーションの現況～看護とリハビリテーションの協力体制～	護摩堂 秀之助	第1回北陸地区脳神経リハビリテーション看護研究会	2010.7.10
	脊髄梗塞後に急性心筋梗塞を合併した一症例	織 田 洋 輔 能 登 貴 久 五百崎 仁美 千 代 理 絵 山 本 薫 松 下 一 紀 按 田 弘 美 井 内 和 幸	第16回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	2010.7
	重複障害者に対する心臓リハビリテーションの問題点	織 田 洋 輔 能 登 貴 久	みんなの理学療法 第23巻	2011
歯 科	急性期病院における歯科衛生士の役割と他職種との連携	坂 口 奈美子	富山県歯科衛生士会富山支部研修会	2010.8.1 富山 富山県歯科保健医療総合センター

科名	題名	発表者又は著者	研究会・学会名 及び掲載誌名	年月日
歯科	摂食嚥下サポートチームにおける 歯科衛生士の役割	<u>坂口 奈美子</u>	富山県保険医協会 2010 医療・介護連携シン ポジウム	2010. 8. 22 富山 名鉄トヤマホテル
	急性期病院における歯科衛生士の 口腔ケアラウンド～10 年間の取 り組み～	<u>坂口 奈美子</u>	第 16 回日本摂食・嚥下 リハビリテーション学 会学術大会	2010. 9. 4 新潟 朱鷺メッセ
	機能的口腔ケア	<u>坂口 奈美子</u>	富山県ディサービスセ ンター協議会	2010. 11. 18 高岡 ホテルニューオー タニ高岡
	急性期病院における歯科衛生士の 口腔ケアラウンド～10 年間の取 り組み～	<u>坂口 奈美子</u>	第 7 回日本口腔ケア学会 学術大会	2010. 11. 27 大阪 大阪国際交流セン ター